

事務事業評価表 平成23年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 障がい者福祉の充実  
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **ふれあいワークセンター管理運営事業**

[0195]

部名	健康福祉部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ふれあいワークセンター
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理・運営を適切に行い、利用者サービスを向上する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) 施設の管理運営を指定管理者に委託する。
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	8,683	8,683	8,646	8,646
活動指標2						
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	10,311	9,748	8,646	8,766
正職員人件費 (B)		千円	836	1,245	806	815
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	11,147	10,993	9,452	9,581

費用内訳	
22年度	委託料 8,646千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	ここ数年、配管設備の不具合が続いていたことから、平成21年度に経済交付金を使って配管設備等の修繕を行った。(1,166千円)
--------	--	-------------	--

## 22年度の実績による事業課の評価(7月時点)

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は?

障がい者が利用し、障がい者の生活訓練・福祉的就労などを目的とした施設であり、その管理運営経費である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は?

障がい者が利用し、障がい者の生活訓練・福祉的就労などを目的とした施設であり、その管理運営経費である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか?計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は?

18年4月から指定管理施設となり、施設運営の効率化が図られた。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか?その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は?

指定管理制度により、施設の活用やサービス面の向上が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・  
根拠は?

指定管理者制度によるふれあいワークセンターの運営効率化により、運営費等の削減が期待できる。